

わたしはわたし

3つの障がい者アートの現場から

《実践報告と交流会》

2024年8月30日（金）9時00分～12時00分

福井県自治会館 202・203 研修室

福井市西開発4丁目202-1 電話：(0776) 57-1111

報告 ^{ふう}アート教室 **あとリエ風** 『**あとリエ風の仲間**』

社会福祉法人 **ハスの実の家** 『**僕の好きな場所**』

就労継続支援 **前進主義** 『**レトさんの商品づくり**』

助言者 滋賀大学教育学部教授 **白石 恵理子 氏**

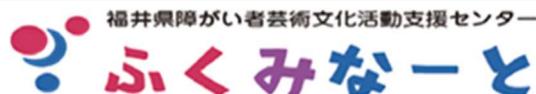
今回の実践報告と交流会では、障がいのある人たちとのアート活動を行っている、事業所・団体から、そのキラキラした取り組み・実践、生まれたエピソード等、作品と共に作者に視点をあてたレポート報告を受け、白石恵理子氏の助言をいただきながら、大いに交流したいと思います。

参加無料

要申し込み

どなたでも参加できます

主催



お問合せ・申込先:

〒910-4103 あわら市二面 87-2 ハスの実の家内

電話:0776-78-6743 Fax:0776-78-6744

E-mail: center-fukui@hyougen.org (山口・具谷)

障害者アートを取り上げる時、完成した作品に注目されることが多い。けれど作品が完成するまで過程を作品とともに丸ごと受け止めて欲しい。作者が作品に向き合った時間を共有して欲しいと思います。アートに取り組む人は豊かで幸福に生きる願いや、それを実現する社会はどうあるべきかという問いを創作活動と切り離していません。

詩人 石黒 真知子 氏

【実践報告事業所・団体】

アート教室「あとリエ風^{ふう}」

2010年に設立。特別支援学校、特別支援学級などの児童・生徒および卒業生(10代~40代)が集まる任意の絵画グループ。スタッフは特別支援学校の元教員や美術の大学を出た方などボランティアで参加。毎月第3日曜日に福井県社会福祉センターで活動。年に一回「アトラボふくい」で作品展を開催。2023年、文部科学省より「障害者の生涯学習支援」として文部科学大臣表彰。



社会福祉法人「ハスの実の家」

1965年、無認可施設「ハスの実の家」を創立。2021年、「保健・文化交流センター」を開設。野外ステージを中心に据え、4つのアトリエ、ギャラリーを常設。同年、福井県より「福井県芸術文化活動支援センター事業」を受託。心満たされた仲間がどんなふうに変わっていくのだろう。そんな思いを巡らせて見えてきた感性豊かに描かれた絵と、そこに込められたメッセージに気づいた時の面白さを伝えたい。

就労継続支援「前進主義」

越前市で活動している障がい福祉事業所。キャリアを目指す障がいのあるデザイナー達が、地域と連携して仕事をしているデザイン事務所を運営。また、障がい者アーティストも多数在籍するようになり、日々スキル向上のために創作活動に取り組んでいる。近年、「すたいるくま」というアートコミュニティをつくり、商品の開発・販売なども行っている。昨年、くまの隠れ家という雑貨店をオープン。



【助言者】

滋賀大学教育学部教授 白石 恵理子 氏

福井市生まれ。就学前から青年・成人期までの知的障がい・自閉性障がい児者における発達的特徴と障がい特性を生活年齢との関係で明らかにし、各ライフステージにおけるQOLとQOLを豊かにするための教育指導のあり方、発達保障の課題、条件を明らかにすることにとりくんでいる。さらに、障がい児の発達と自己認識の関係、実践における集団と個の関係、学校から社会へのトランジションについてさらに研究を深めている。

編著『新版 教育と保育のための発達診断 上・下』全障研出版部 他、著書多数